

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
107-160	高等学校	外国語	英語コミュニケーションⅡ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
104・数研	CII 104-902	Revised BIG DIPPER English Communication Ⅱ		

## 1. 編修の基本方針

日常的な話題・社会的な話題を英語の言語活動を通じて学習することで、**的確に情報や考えを理解したり表現したりするコミュニケーション能力**を育成できるように留意した。

1. 題材は学習者に**親しみやすく**、かつ、**多面的・多角的な考察ができる**内容豊かなものを選んだ。
2. 言語材料に関しては、**英語コミュニケーションⅠとのスムーズな連携**を考慮し、また、**確かな定着**を目的としてⅠの学習内容を再度扱った。
3. 題材を学習するにあたっては、聞く・読む・話す[やり取り／発表]・書くの**5つの領域の統合的な言語活動**を設けた。
4. 言語活動においては、読んだり聞いたりした内容について、学習者の意見を引き出したり、クラスメートの意見を聞いたりする活動を設けて、学習者が積極的に授業に参加できるように配慮した。

上述した内容・構成によって、学習者が**多様な知識と教養**を身につけ、主体的に**社会の形成に参画**し、自他国の伝統・文化を尊重しつつ**国際社会の平和と発展に寄与する**態度を養うことが達成できる教科書となるように編修した。

## 2. 対照表

(例)

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
前見返し つなぎ表現／単語の成り立ち	・英語の「つなぎ表現」や単語の接頭辞・接尾辞についての知識を身につけさせる。 (第1号)	前見返し
Lesson 1～10	・さまざまな内容の英文を読み、活動を行うことによって、幅広い知識と教養を身に付ける。(第1号)  ・日本が世界に誇る食品サンプルに関する題材を読み、自分の意見を表現することで、伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛する態度を養う。(第5号)  ・タイパ(タイムパフォーマンス)に関する題材を読み、自分の意見を表現することで、幅広い知識と教養を身に付け、豊かな	全般  Lesson 1 (6～15, 128頁)  Lesson 2 (16～25, 129頁)

	<p>情操を培う。(第1号)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・睡眠の重要性に関する題材を読み、自分の意見を表現することで、幅広い知識と教養を身に付け、豊かな情操を培うとともに、健やかな身体を養うことにつなげる。(第1号)</li> <li>・色の科学に関する題材を読み、自分の意見を表現することで、幅広い知識と教養を身に付け、豊かな情操を培う。(第1号)</li> <li>・ユニバーサルデザインに関する題材を読み、自分の意見を表現することで、男女の平等や自他の敬愛と協力を重んじ、公共の精神に基づいて、社会の形成に参画する態度を養う。(第3号)</li> <li>・81歳でゲームアプリをつくった若宮氏に関する題材を読み、自分の意見を表現することで、創造性を培い、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んじる態度を養うことにつなげる。(第2号)</li> <li>・生物をヒントに開発されたものに関する題材を読み、自分の意見を表現することで、生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う。(第4号)</li> <li>・保存食の魅力と可能性に関する題材を読み、我が国及び他国の食文化を尊重し、国際社会の発展に寄与する態度を養う。(第5号)</li> <li>・シェアリングエコノミーに関する題材を読み、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養う。(第2号)</li> <li>・現在社会がコンクリートや、その原材料の砂に大きく依存していることを読み、自分の意見を表現することで、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う。(第4号)</li> <li>・平等意識や公平の観念を養うため、男女や人種などにおいて、偏りが生じないように配慮した。(第3号)</li> </ul>	<p>Lesson 3 (28～37, 130頁)</p> <p>Lesson 4 (38～47, 131頁)</p> <p>Lesson 5 (50～61, 132頁)</p> <p>Lesson 6 (62～73, 133頁)</p> <p>Lesson 7 (76～87, 134頁)</p> <p>Lesson 8 (88～99, 135頁)</p> <p>Lesson 9 (102～113, 136頁)</p> <p>Lesson 10 (114～125頁, 137頁)</p> <p>写真・イラスト全般</p>
--	---	--

### 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

#### 教科書の特色

#### A. 見開き構成で喚起する学習意欲

1 時限で無理なく終わられる、学習意欲の湧く分量・レベルとすることで、一般的な教養を高め、専門的な知識・技術を習得させることに役立つようにした。

#### B. 生徒の意見を引き出す題材・無理なく生徒に英語を使わせる工夫

「食品サンプル」「タイパ」「睡眠負債」「色の科学」「81歳で初めてスマートフォンゲームアプリを開発した女性」「世界の砂不足」等のバラエティ豊かな「**生徒が話したくなる／話す価値のある**」トピックを揃え、豊かな人間性、創造性を養うことを目指した。さらに、本文に関連した内容の**簡単なペアワーク等**で、自己表現活動を行うことによって、個性の確立に努め、社会について広く深い理解と健全な批判力を養う狙いとした。

#### C. 題材を深く読むための工夫

題材は、**多面的・多角的な考察ができる**ようなもの。また、**実際に使用されるような、目的・状況に応じた文章形態（レシピ、広告、ブログ、web サイト、新聞記事など）**を適宜掲載し、多様な知識が得られるようにした。

また、本課の学習後に、**巻末の Power Up Section（本課各課の読み足し英文）**まで使用することで、題材の理解を、より一層深めることができる。

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
107-160	高等学校	外国語	英語コミュニケーションⅡ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
104・数研	CⅡ104-902	Revised BIG DIPPER English Communication Ⅱ		

<p><b>1. 編修上特に意を用いた点や特色</b></p> <p><b>I. 全般的な留意点</b></p> <p>A. 題材は、生徒の人間として<b>調和のとれた育成</b>に寄与するもので、知的好奇心を刺激する<b>バラエティに富んだ内容</b>を取り揃えた。</p> <p>B. 英語で<b>積極的にコミュニケーションを図る態度</b>を育成するため、問題<b>指示文は英語を用いた</b>。また、言語活動を行いやすいように、<b>モデルパターン・ヒント</b>を示した。</p> <p>C. <b>情報や考えを的確に理解して伝える基礎的能力</b>を習得できるよう、<b>5領域の基礎を段階的に学べる</b>構成とした（各課脚注に確認問題を入れたほか、各見開きの最後は、「話す・書く」活動で締めくくる）。</p> <p><b>II. 教科書の構成</b></p> <p><b>A. 本課・導入ページ</b></p> <p>① 生徒の興味を引き、題材への興味を喚起する写真とその課の登場人物のイラスト。          レッスンタイトル横には、関連するSDGs（持続可能な開発目標）のアイコンを掲載。</p> <p>② <b>Your Goal</b>：「聞く・読む・話す・書く」の観点での、その課の学習目標。</p> <p>③ <b>Warm Up</b>：【1】音声から写真などを選ぶ問題。／【2】ペアで対話する活動。</p> <p><b>B. 本課・本文ページ</b></p> <p>① <b>写真・イラスト描写リスニング問題</b>：本文上の写真・イラストを利用した問題。</p> <p>② <b>本文</b>：本文の上に状況説明文も掲載。</p> <p>③ <b>側注</b>：新出語と発音記号。</p> <p>④ <b>脚注</b>：&lt;1&gt; 指示語などの確認。          &lt;2&gt; 成句の提示/辞書指導・音声指導の関連問題。          &lt;3&gt; 固有名詞や語句の読み方など。</p> <p>⑤ <b>二次元コード</b>：新出語・本文音声のリスニング/発音・音読練習/本文を読む速さの確認（WPM計測）が可能。</p> <p>⑥ <b>Hints for Understanding</b>：ターゲットとなる文法の解説。</p> <p>⑦ <b>Comprehension</b>：内容把握問題。基本的に【A】T/F問題、【B】さまざまな形式の問題。</p> <p>⑧ <b>Give Your Opinion</b>：本文内容について意見を述べる活動。</p> <p><b>C. 本課・課末ページ</b></p> <p>① <b>Main Information</b>：レッスン全体の要点をまとめる。</p> <p>② <b>Try It Out</b>：聞き取った内容をもとにペアワークをし、意見をまとめて発表する。</p> <p>③ <b>Self-review Your Goal</b>：「聞く・読む・話す・書く」の観点での、その課の学習目標が達成できたかを振り返る。</p>
--

#### D. その他の構成要素

**Grammar for Expression 1～5** : 表現活動を通じて、**各課の文法事項**を定着させる。

**Grammar for Expression PLUS** : Grammar for Expression 1～5で学習した文法事項を使って、自分の考えなどを表現する。

**Power Up Section** : LL1～10の**読み足し英文**。

## 2. 対照表

(例)

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
・L6 Part4 Hints for Understanding ・各レッスンの本文, 前見返し	<内容> (1)-ア 音声 (ア)～(ウ)	・71頁	別表
・各レッスンの本文, 脚注	(1)-イ 句読法 (ア)～(ウ)	・12頁, 前見返しI など	
・各レッスンの本文, Hints for Understanding ・Grammar for Expression	(1)-ウ 語, 連語及び慣用表現 (ア)～(ウ)	・10頁など	
・各レッスンのComprehension ・各レッスンのMain Information	(1)-エ 文構造及び文法事項 (ア)(イ) a～h	・8,9頁など ・26,27頁など	
・各レッスンのWarm Up 2, ・各レッスンのGive Your Opinion	(2)-ア	・9頁など ・14頁など	
・各レッスン Try It Out	(2)-イ	・7頁など ・9頁など	
・各レッスンのWarm Up 1 ・各パートの画像に関するQ	(2)-ウ	・15頁など	
・各レッスンのTry It Out	(3)-①-イ 聞くこと(ア)	・7頁など ・8頁など	
・各レッスンの最終パート	(3)-①-イ 聞くこと(イ)	・37頁など	
・L1-4のPart1-2, L5-10のPart1-3 ・各レッスンのMain Information	(3)-①-ウ 読むこと(ア)	・12-13頁など	
・各レッスンのWarm Up 2	(3)-①-ウ 読むこと(イ)	・52-57頁など ・60頁など	
・各レッスンのGive Your Opinion	(3)-①-エ 話すこと [やり取り] (ア)	・39頁など	
・各レッスンのTry It Out	(3)-①-エ 話すこと [やり取り] (イ)	・121頁など	
・各レッスンのTry It Out	(3)-①-オ 話すこと [発表] (ア)	・15頁など	
・各レッスンのTry It Out	(3)-①-オ 話すこと [発表] (イ)	・61頁など	
・Give Your Opinion ・各レッスンのTry It Out	(3)-①-カ 書くこと(ア)	・85,133頁など ・47頁など	
・Give Your Opinion ・各レッスンのTry It Out	(3)-①-カ 書くこと(イ)	・123頁など ・113頁など	
・各レッスンの最終パート	(3)-②-ア 言語の使用場面の例 (ア)～(ウ)	・12,22頁など	
・各レッスンのWarm Up 2 ・各レッスンのGive Your Opinion	(3)-②-イ 言語の働きの例 (ア)～(オ)	・7頁など ・9頁など	
・各レッスン	<内容の取扱い>	・6-15頁など	

<別表>

単元	題材	言語材料	配当 時数
L1 Plastic Food Models: Beyond Realistic	日本文化 ・社会	不定詞〈to+動詞の原形〉 <u>復習</u> 受動態〈be 動詞+過去分詞〉 <u>復習</u> 助動詞+be+過去分詞 <u>復習</u>	6
L2 What Is <i>Taipa</i> ?	ライフス タイル	現在完了〈have/has+過去分詞〉 <u>復習</u> 過去完了〈had+過去分詞〉 <u>復習</u> SVO (O=wh-節) 関係代名詞の限定用法 <u>復習</u> 関係代名詞の継続用法①	6
Grammar for Expression 1			2
L3 Do You Get Enough Sleep?	健康・生 活	仮定法過去 <u>復習</u> 関係代名詞 what <u>復習</u> 関係副詞 when <u>復習</u> 関係副詞 where <u>復習</u>	6
L4 The Science of Colors	科学・技 術	関係代名詞の継続用法② SV0102 (O2=that 節) 関係副詞 why <u>復習</u>	6
Grammar for Expression 2			2
L5 Universal Design: Convenient for All	社会・福 祉	現在分詞の分詞構文 <u>復習</u> 進行形の受動態〈be 動詞+being+過去 分詞〉 関係副詞 where の継続用法 形式目的語 it	8
L6 Wakamiya Masako: The World's Oldest Game App Developer	人物・人 生	SVC (C=現在分詞/過去分詞) 受動態の分詞構文 助動詞+have+過去分詞 SVOC (C=過去分詞)	8
Grammar for Expression 3			2
L7 Learning from Nature	技術革新 ・自然	省略 動名詞の意味上の主語 未来進行形〈will be+~ing〉 完了形の不定詞〈to have+過去分詞〉	8
L8 The Wisdom of Preserving Food	文化・食 生活	仮定法過去完了 as if+S' + 仮定法過去 Without ~ 命令文 (レシピ) <u>復習</u>	8
Grammar for Expression 4			2
L9 The Sharing Economy: Something for everyone?	経済・労 働	未来完了〈will have+過去分詞〉 無生物主語構文①〈enable+O (人) + to-不定詞〉 SVC (C=that 節) 無生物主語構文②〈make+O (人) +原形 不定詞〉	8
L10 Sand and Concrete: A Basis of Our Life	環境・社 会	関係副詞 when の継続用法 複合関係代名詞 whatever 倒置	8
Grammar for Expression 5			2
Power Up Section ( LESSON 1 ~ 10 )			15
			計 97